

### 経皮感染するレプトスピラ - 水遊びに注意 -

レプトスピラ症は、病原性レプトスピラ菌によって引き起こされる人獣共通感染症です。病原性レプトスピラは、げっ歯類を中心とした多くの哺乳動物の腎臓に定着し、尿中へと排出されます。レプトスピラ菌は、微好気もしくは好気的な環境で生育するスピロヘータで、中性あるいは弱アルカリ性の淡水中や湿った土壌中で長期間生存することができます。ヒトは、この尿に汚染された水や土壌との接触により感染します<sup>1)</sup>。本邦ではまれな感染経路である経皮感染をおこします。経口感染もあります。東南アジアでは洪水のあとにはレプトスピラ症が流行し、タイでは多い年には14000人が罹患し、360名が死亡することが報告されています<sup>1)</sup>。

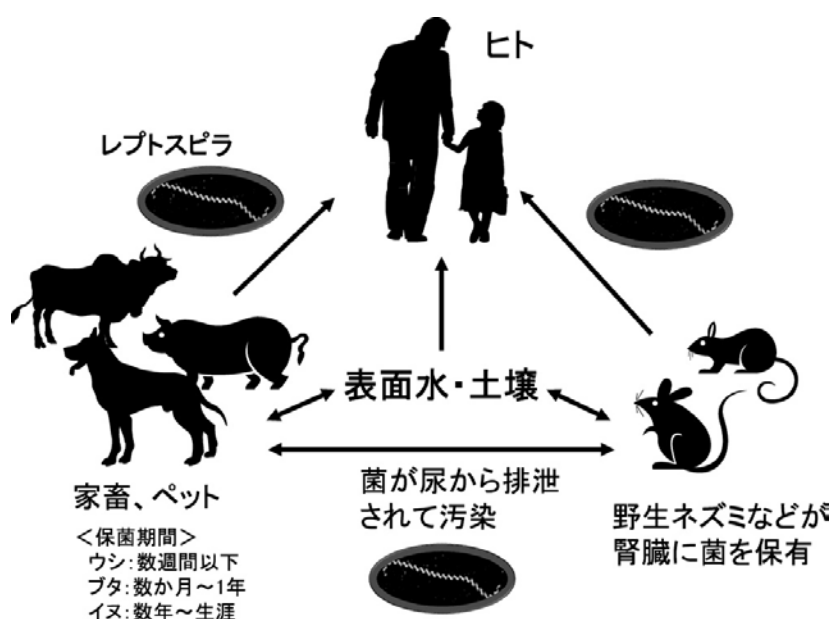


図1 文献2)より転載

本邦ではレプトスピラ症の患者数は、野鼠などのげっ歯類の減少、灌漑排水事業による農業用水の水質改善と農作業の機械化で農民が土壌に触れる機会が減ったことなどの理由で近年著しく減少しましたが、本菌は私たち周囲に普遍的に存在する細菌で現在でも散発的な発生は全国的に起きており、特に沖縄県では散発、集団発生事例が他の地域に比べて多く報告されています。レプトスピラへの感染は、保菌動物の尿との接触の機会が多い場所、すなわち以前は農作業や下水道での作業などを介して起こっていましたが、現在では河川でのレジャーによる発生が増えています(図1)。2000年、ボルネオ島で開催された国際冒険レース(エコチャレンジ2000)では、レプトスピラの集団感染が起こり、日本からの参加者を含め多くの国から発症者が出ました<sup>2)</sup>。それに加えて、近年、都市部での感染が増加してきており、これは、都心に生息するネズミがレプトスピラを保有しておりネズミの尿などで汚染された水などを介して感染する機会が増えたためと考えられています。東京都の自宅で感染し、重篤化した一例も報告されています<sup>4)</sup>。

鹿児島県の調査では117頭の飼育猫のうち9頭(7.7%)、806頭のひきとり犬のうち190

頭(23.6%)にレプトスピラ血清抗体が検出され、本邦においても通常認められる細菌であることが確認されています<sup>3)</sup>。ただ、レプトスピラは250種以上の血清型があり、各血清型により病原性が異なり、約半分が人に病原性があると考えられています。つまり病原性のないレプトスピラ菌もあり菌が検出されたからといって感染するとは限りません。

レプトスピラ症は病原性のある菌が1個でも人体に侵入すると発症すると考えられていますが、一般的に健常な皮膚から侵入する可能性は低く、皮膚の傷が感染のリスク因子となります。しかし、皮膚がふやけた状態になると感染しやすくなるといわれています。

レプトスピラ症の症状は、感冒様の軽症型から、黄疸、出血、腎不全を伴う重症型までその臨床症状は多彩です。潜伏期が5～14日と長く、臨床診断はかなり難しいと思われま<sup>1)</sup>す。感染しないように注意する必要があります。

沖縄の保健所のホームページにレプトスピラ感染予防のポイントが記載されていました。

#### 1. 皮膚

ひふに傷がある場合は、水田や川に入はいらないこと

#### 2. 素足

すあしで長時間水田や川に入らないこと

皮膚がふやけてくると感染することがあります

#### 3. 特に7月～10月の間あいは気をつけること

#### 4. 水田や川に入はいった後、突然の発熱、頭痛、筋肉痛の症状がでたら、すぐにお医者さんに診てもらうこと。

よく知らないところの淡水ではあまり泳いだり、素肌を水に浸さないほうが良いかもしれません。ハワイ州はレプトスピラの高侵襲地域でアメリカ国で発生するレプトスピラ症の半数以上がハワイ州で発生するそうです。



写真1 5) より参照

写真はオアフ島カウアイ滝のレプトスピラ症の警告看板です。ハワイ州は野ネズミ退治目的でマンガースを放し飼いにしたところ、マンガースがレプトスピラに感染し、その尿で環境汚染したのでそうです。このように日本でも局所的にレプトスピラの高汚染地域がある可能性があります。山中の沢の水は一見きれいそうですが意外な危険が潜んでいるかもしれません。

平成28年7月22日

参考文献

1) 洪水後はレプトスピラ症に注意

<http://www.nobuokakai.ecnet.jp/nakagawa18.pdf>

2) 齋藤 光正：レプトスピラ感染症～ワイル病病原体発見から百年～.日本細菌学雑誌  
2014；69；589－600.

3) 阿久沢 正夫：南九州における飼育猫のレプトスピラ抗体保有状況．日獣会誌 2006；  
59；45 - 48．

4) 増田 慶太：東京 23 区内で感染した重症レプトスピラ症（ワイル病）の 1 症例 .感染  
症誌 2010；84；59－64．

5) Archive for the ‘ハワイの自然’ Category

<http://www.alohaainaecotours.com/wordpress/?cat=12&paged=39>